

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営方針

独自の金融コングロマリット構想の下、特長ある金融サービス事業の拡充と効率化により、さらなる発展を目指す

ROE
10%以上

当年度ROE
15.3%

2 中長期の経営戦略

1. ナンバー・ワン、オンリー・ワン育成

各事業分野においてナンバー・ワンまたはオンリー・ワンサービスを育成し、顧客拡大とグループ企業価値最大化に取り組む

2. リユース事業の強化

市場拡大に伴い新規出店で買取チャネルを拡大。個人客からの買取強化と個人向け販売施策を実施

3. ハーン銀行の持分調整

モンゴル銀行法改正に伴い2026年12月末までに持分を20%以下に引き下げ

4. アジア新興国への投資強化

経済成長著しいアジア新興国や独自性高い新規事業への投資を積極検討

3 対処すべき課題

① 国内事業環境の悪化

- ・人口減少・高齢化による構造的問題と競争激化への対応
- ・円安に伴う物価上昇と実質賃金下落への経営環境悪化

② リユース市場の競争激化

- ・買取価格上昇による粗利率低下の可能性
- ・フリマアプリ拡大に伴う市場参入企業の増加

③ 海外事業の経済リスク

- ・中国経済動向とインフレ率がハーン銀行業績に重要影響
- ・キルギスのインフレ上昇、ロシアのウクライナ制裁による先行き不透明

面接で使えるポイント

- ・金融コングロマリット構想のもと、証券・リユース・銀行事業で各分野ナンバー・ワンを目指す企業
- ・モンゴル最大リテール銀行ハーン銀行を傘下に持ち、2026年までの持分調整が戦略的課題
- ・ROE10%以上安定維持を経営目標とし、顧客信頼と企業価値向上を両立させる姿勢

証券コード 8699

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）

－（推移を描ける期数の開示がありません）

要するに
金融業を主軸とした多角的な事業展開を行う企業

主力事業・セグメント

- ・Reuse 95.5%
- ・銀行 4.5%
- ・その他 0.0%

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
553億円営業利益率
▲0.7%財務健康度
63点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 64.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収

767万円

証券、商品先物取引業内 26位/36社

平均年齢

49.0歳

証券、商品先物取引業内 3位/36社

平均勤続

12.2年

証券、商品先物取引業内 16位/36社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: H S ホールディングス[8699]：取締役候補者の選任及び監査

